



## Weekly Report

# 山梨中央ロータリークラブ

Rotary International District 2620  
Yamanashi Chuo Rotary Club 2016-2017

会 長	石原 満彦	副会長	田中 雅貴
幹 事	竹野 満	副幹事	田中 雅承
会 計	小池 章治	会 報	田中 雅承

事務所 〒409-3812  
山梨県中央市乙黒 158-2 (山梨ビジネスパーク(株) カルク内)  
TEL 055-273-5344 URL <http://yamachuo-rc.net/>  
FAX 055-273-8010 E-mail [rotary@yamachuo-rc.net](mailto:rotary@yamachuo-rc.net)

2016~2017 RI 会長 ジョンF.ジャーム  
第2620地区 ガバナー 生子 哲男  
【例会日】毎週金曜日 12:30~13:30  
【例会場】(株)カルク (055-273-5344)

2017年 2月 17日 第1755回例会

### 本日のプログラム

会員卓話 林 美喜枝会員

### 会長挨拶

#### 「ジャネの法則(後編)」

会長 石原 満彦

(前回の続き)

この「1年早いなあ」とか「1年あつという間だなあ」という何気ないセリフですが、それが意外と重要で、裏を返せば「今年も単調だったなあ」と言っているのも同然なのです。

私自身、過去にこの事がある人から教えて頂いたのを思い出しました。その時はかなりドキッとした覚えがありまして、それ以来不用意に「1年早いなあ」と連発しないように気を付けていたつもりでしたが、すっかり忘れておりました。

さて最後にしますが、ジャネの法則。誰しも年齢には逆らえないのですから、1年の比重という意味では、私ども大人がどんなに頑張ったところで、子供達に敵うわけがありません。でも、毎日を充実させる意味では、私ども大人の方が子供達よりも、はるかに選択肢や可能性が多いはずだと思います。

それを証拠に、皆さんも子供の頃「大人って

いいなあ」とか「早く大人になりたいなあ」とか思ったり言ったりしたことが、絶対にあると思います。それで実際大人になってみた今、どうだろう?なんて考えてみると、当時とは反対に「子供はいいなあ」とか「子供の頃に戻りたいなあ」とかであったりする。

これでは1年の比重で見ても日々の充実感で見ても、子供に劣ってしまっているわけですから、時間が早く感じてしまうのも仕方ないわけですね。

どうしても充実感というとは何か特別な出来事を想像してしまいがちだと思うのですが、こうして毎日、目の前に自分のやるべき仕事があるということは、少し見る角度を変えれば十分充実感を感じられると思います。ですのでそのことを再確認して頂くとともに、もちろん強要はしませんが「1年って早い!」というセリフの言い過ぎには気を付けて頂ければな、と思います。

ジャネの法則の話から少し脱線してしまいましたが、私も改めて、出来るだけ例会は休まず出席し、皆さんとの親睦を通して自分の体験だけでは知り得ない知識や知恵を学び、充実した場にしていきたいと思いました。

そんなところで、本日の会長挨拶とさせていただきます。

## 幹事報告

幹事 竹野 満

1. 国際ロータリー日本事務局より「2016年度手続要覧」の見本が1冊届いておりますので、回覧を致します。  
また、当クラブに於いては11冊注文致しますので、少し時間を頂きますが全員に配布致します。
2. お知らせ致しました様に、3月15日(水)は南アルプスロータリークラブとの「合同例会」に成りますが、会場が「魚覚」、例会日が当クラブの例会日と代わりますので、今から日時の調整をして頂き、全員参加が出来るようお願い致します。  
今年度は山梨中央ロータリークラブがホストクラブに成りますので、宜しくお願い致します。
3. 本日の卓話の時間は「フリートーク」です。先日1月29日(日)に行われました「地区職業奉仕セミナー」に出席頂いた、石原会長、小池章治委員、林美喜枝委員を中心に、意見交換をお願い致します。
4. 例会変更のお知らせ

☆甲府東ロータリークラブ☆

3月10日(金)の例会は「君津RC45周年記念式典参加」の為 日時・会場の変更

日 程：3月11日(土)

点 鐘：午後2時

会 場：「ホテル千成」

(千葉県君津市東坂田 4-1-1)

(Tel:0439-52-8511)

## 前回の例会記録

### 第1754回 出席報告

会員数	免除	出席者	欠席者	出席率	メイクアップ	前回の修正出席率
11名	0名	9名	2名	80%	3名	100%

届出欠席者 遠藤 一郎君 樋貝 浩久君

届出失念者 なし

出席免除者 なし

メイクアップ 原田 哲君 田中 雅承君  
遠藤 一郎君

ビジター なし

備考 国際奉仕委員会よりクラブ旅行の説明

## ニコニコBOX

- 早退します。 鮎川 一明
- 前回休みました。 原田 哲

## ★米山奨学生卓話★

### 『「春節」について(2)』

米山記念奨学生 駱 予倩さん

中国、ベトナム、シンガポール、マレーシア、インドネシア、モンゴルでは、国の休日として春節を祝っているのです。2017年の春節(旧暦の1月1日)は1月28日なので、春節の休みは1月27日の大晦日から、2月2日までの7日間、1月22日(日曜日)と2月4日(土曜日)が振替出勤となります。社会問題になっている帰省ラッシュを緩和するため、春節の休みを現在の7日間から10~12日、もしくは15日に延長したらどうか?といった意見が出されました。

かつて春節といえば、帰省して家族と年を越す以外の過ごし方はほぼ皆無でした。しかし現在は、春節も故郷に帰らず旅行を楽しむ人たちが増加しています。日本、韓国、シンガポールなど海外旅行ブームも白熱していますが、国内旅行も同じく人気です。

中国北方の正月といえば餃子。大晦日「除夕」から家族が集まって餃子を作ります。最近物質的に豊かになった都市部では、その代わりにいつもより豪華な料理やお菓子をテーブルに並べたり、家族みんなでの外食を楽しんだりしているのです。米を主食とする南方では、餃子の代わりに湯圓(タンユエン)をいただきます。湯圓とはトロットとろける餡子やゴマ、ピーナッツなどの具が入っている白玉の団子の入ったスープなのですが、満月のように丸く、銀元(昔のお金)のように白く、また発音が団圓(トアンユエン)に近いことから、家族団欒・幸せのシンボルとされています。(続く)

次回のプログラム 2月24日(金)

ガバナー補佐 クラブ訪問(3)